



元気で躍進 地域経済

ハンズオン成果あった

三重化学の「地域未来牽引」選定も報告
山川社長



2017(平成29)年度 松阪市中小企業ハンズオン支援事業で支援を受けた三重化学工業(株)(本社 同市大口町)の山川大輔社長(41)が9日午後5時、市役所に竹上真人市長を訪ね、同事業の成果とともに、同事業で磨きかけたブランディングも功を奏して経済産業省が選定する「地域未来牽引(けんいん)企業」に選ばれたことを報告した。

山川社長は、鮮やかな絵を描いたのもハンズオンの成果の一つ。「2年前に山口先生(同事業を提唱した山口義行立教大学名誉教授)が初めて来てくださった時、ただの真っ白な建物だった社屋を見て『何の会社? 仕事の内

容が分からない』と言われ、昔から手袋のパッケージに使っていた絵をちよっとおしゃべりにして描いた」と振り返った。ブランディングを意識した新ハンフレットは昨

年末に完成。同年12月25日に経産省が発表した地域未来牽引企業のことには載っていないが、ハンズオン支援事業の一環で新たに立ち上げた医療機器ブランド「median(メディアン)」を前面に出し、「三重から守るもん」創る会社」と、新たなキャッチフレーズをうたった。医療分野の18

は約5100万円で、まだ全体の3%ほどだが前年比2割増で増えており、海外市場での展開も視野に入れている。山川さんは「今後は設備だけでなく『人』に投資していきたい。人が変われば企業も変わる。海外へ行きたい人に語学の勉強の費用を出すということも始めた」などと話していた。

も功を奏して経済産業省が選定する「地域未来牽引(けんいん)企業」に選ばれたことを報告した。山川社長は、鮮やかな絵を描いたのもハンズオンの成果の一つ。「2年前に山口先生(同事業を提唱した山口義行立教大学名誉教授)が初めて来てくださった時、ただの真っ白な建物だった社屋を見て『何の会社? 仕事の内